

歴事業等

- ・維持管理費の推移（性能低下、劣化進行の把握）
- ・設計図書の有無（対策工法の重要資料）

具体的には、現有施設台帳の精度を高めるため、定期診断時に土地改良区内の施設について、「施設の諸元や補修履歴」などについて情報収集を図る。

又、定期診断施設以外の農業水利施設台帳は順次追加整備していく予定です。

担当者が伺った時にはよろしくご協力をお願い致します。

2. 農業水利施設の地図情報システム（GIS）の構築

水土里情報利活用促進事業等を活用したシステムを構築し、データベースを随時容易に検索・更新・編集できるようにしていく。

具体的には、図形情報（GIS）による水路名、施設名等位置の把握や、属性情報

（施設の諸元・補修データ等）を整備し、維持管理に役立てるものとしたいと思っております。

とめた内容で発表された。

質疑では、施設の改善による建屋等の構造上に問題は生じないか、施工時の仮設の処理能力や処理方式など技術的な質問や意見が交わされ、今後期待されるよりよい成果づくりとあわせて機能強化事業への取り組みに有意義な内部研修となった。

おわりに、担当部長より「パワーポイントのまとめ方の評価や、顧客がより分かりやすい資料の作成」、「満足する成果でなければならない」などのアドバイスがなされ、今後も四半期に一度をめどに他の事業においても報告書形式の発表会を行うことで終了した。



■ 業務成果発表会で成果説明力向上研鑽

環境整備部では、さる7月30日(水)今年度第1回業務成果発表会を開催した。業務の成果となる報告書等の説明力向上を図ることを目的に開催されたもので、研修では資料となるペーパーは使用せずパワーポイントを使って、農業集落排水事業の機能強化（全国研修会）について参加した集落排水班の職員が処理方式の切り替え事例をもとに、施工計画から施工時の安全面や留意点などについて分かりやすく、見やすくま



連 合 会 日 誌

6月24日	地球人会議運営委員会	本会「第1会議室」
6月28日	種沢地区基盤整備事業記念碑除幕式並びに竣工式	秋田市雄和
7月1日	21世紀土地改良区創造運動大賞 地方選考委員会	仙台市
7月3日	全国農業集落排水事業推進協議会第19回通常総会	東京都
7月15日	第1回秋田県農地・水・環境保全向上対策に関する検討委員会	県庁7F
7月15日	第4回監事会・第2回理事会並びに第2回役員会(～16日)	北秋田市
7月23日	第1回大館・北秋田支部運営委員会	北秋田市
7月29日	仙北西地区圃場整備推進協議会通常総会	仙北市
7月31日	中澁川地区特定農業用管水路等特別対策事業地域環境検討委員会設立委員会	大仙市
8月1日	川口地区経営体育成基盤整備事業竣工祝賀会	大館市
8月4日	都道府県土地改良事業団体連合会会長・事務責任者合同会議	東京都
8月6日	平成20年度第2回会長・副会長会議	本会役員室
8月8日	県・市町村等への要請活動(農地集積加速化基盤整備事業)	秋田県
8月18日	第96回秋田県農業会議総会	秋田市
8月19日	平成20年度水土里情報整備推進部会	本会「第1会議室」
8月19日	農山漁村地域力発掘支援モデル事業「アドバイザー・ミーティング」	東京都
8月22日	秋田県土地改良事業団体職員会「女性セミナー」	秋田市

..... 今後の予定

8月26日	平成20年度農業農村工学会大会講演会秋田大会(～29日)	秋田市「秋田県立大学秋田キャンパス講堂」
8月28日	あきた農地・水・環境保全フォーラム	秋田市「秋田県立大学」
9月3日	全土連創立50周年記念式典	東京都
9月6日	2008秋田中山間ふるさと水と土現地見学会	美郷町、大仙市
9月7日	あきた 食料・環境・ふるさとを考える地求人フォーラム2008	秋田市「秋田市文化会館」
9月8日	平成20年度換地計画・農地連担化促進研修	秋田市
9月12日	秋田県農業担い手フォーラム'08	秋田市「県庁第2庁舎」
9月25日	平成20年度基幹水利施設管理技術者育成支援事業担当者技術研修会(～26日)	茨城県土浦市
9月30日	第2回東北・北海道土地連絡協議会事務責任者会議(～10/1)	北海道
10月22日	平成20年度基幹水利施設管理技術者育成支援事業東北ブロック研修会(～24日)	仙台市
10月30日	土地改良施設診断・管理指導等に関する事例集作成ブロック検討会(～31日)	青森市
10月30日	第131回秋田県種苗交換会(～11/5)	にかほ市

会 員 だ よ り

「大館市農林課」移転のお知らせ

○大館市農林課は、下記住所に移転しましたのでお知らせします。

住 所：〒017-0897

大館市三の丸13番地19号

電話番号：0186-43-7073(変更なし)

FAX番号：0186-42-8570(変更なし)

業務開始：平成20年7月28日

新事業所長の就任について

○東北農政局平鹿平野農業水利事業所は、8月1日付けで所長が下記のとおり就任されました。

所 長 有 森 正 浩

新会長就任のお知らせ

○秋田県農業協同組合中央会は、6月26日付けで会長が下記のとおり就任されました。

会 長 木 村 一 男

新理事長就任のお知らせ

○新城川土地改良区は、7月2日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 安田 友一

○秋田県仙南土地改良区は、7月2日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 鈴木 敏夫

○秋田県仙北平野東部土地改良区は、7月17日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 藤澤 節郎

○平鹿郡大雄村田根森土地改良区は、7月29日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 佐井 祐助

○稲川土地改良区は、8月2日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 遠藤 啓治

○秋田県仙北南部土地改良区は、8月5日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 高橋 周作

○田代町土地改良区は、8月5日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 斉藤 一



「農地集積加速化基盤整備事業」に関する要請活動

■ 本会・正副会長が要請活動

本会の高畑会長をはじめ小林副会長、高橋副会長、古谷副会長及び三浦専務理事が、8月8日(金)、県庁及び市町村会を訪れ、寺田秋田県知事などに「農地集積加速化基盤整備事業」に関する要請活動を行い、同事業への取り組みと支援について要望した。

秋田県関係部署への要請事項

日頃から、本県農業農村整備事業並びに水土里ネット業務の推進に格別のご指導、ご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

本県は、これまでも我が国有数の食料供給基地として、高品質で安全・安心な農産物の生産に努めてきておりますが、その生産基盤は全国平均を上回る整備率(72%)となるなど、担い手の育成や担い手への農地集積が一体化に推進されてきているところであり深く感謝申し上げます。

このような中、国ではさらに国内農業の体質強化を図るため、面的なまとまりを重視した担い手への農地集積を一層推進する「農地集積加速化基盤整備事業」を創設し、特に中山間地域等条件不利地域においては更に補助率の嵩上げを行うこととしております。

本県においてもこれらの地域では、高齢化の進行による担い手不足や過疎化による集落機能の低下など依然として厳しい状況にあることから、基盤整備事業を契機とし元気で活力ある地域農業の実現に向けた取り組みが必要不可欠であると存じます。

つきましては、本会においても新たな制度に積極的に取り組んでまいりますので、県におかれましてはこれまでと同様特段のご支援をお願い申し上げます。

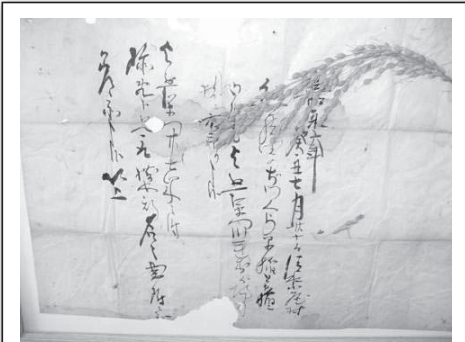
よみがえれ！

江戸時代の稲穂

(水土里ネット稲川)

湯沢市三梨町京政の麻生敏見さん宅には江戸時代の後期、嘉永6年(1853年)の稲穂五種類を標本にして保存しています。

麻生さん宅は湯沢市旧稲川町の皆瀬川左岸の水田をかんがいする与惣右エ門堰を開削した末裔にあたります。麻生家は代々与惣右エ門を襲名しており、堰開削の完成(元禄14年)から下ること150年余り、何代目の与惣右エ門さんかは分かりませんが、自分の稲穂だけでなく地域のおそらく良く出来た稲を保存したのだと思われます。



稲穂の標本、嘉永6年の年号と採取場所、品種などが書かれています。



▲麻生家の方々が見守る中、稲の種が採取されました。

発見当時は和紙に包んであり嘉永6年の年号とどこの誰の、稲の品種などが墨書され、木箱に入れられ、天井裏に保存されていたそうです。

麻生さんに発芽試験をさせてと依頼したところ、快く承諾してください、このたび雄勝地域振興局の方の手によってサンプルを五粒ほどずつ採取したところです。

振興局の方の話によると発芽させるのは無理かもしれないとのことでしたが、江戸時代の稲がよみがえればと麻生さん共々期待しているところです。

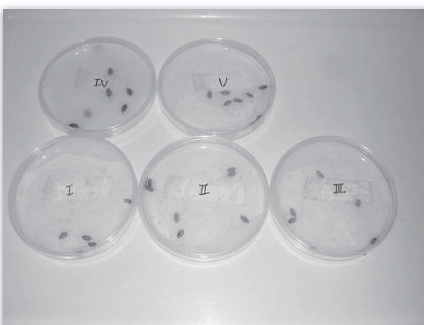
そして、その稲を地域の子供たちに植えてもらい、収穫し、江戸時代の米はどんな味だったかを体験させたいものだと思います。子どもだけでなく地域の方全員が興味を示すことでしょうか。地域活性化に繋げることも可能かもしれません。夢はどんどん膨らんでいきます。

よみがえれ！江戸時代の稲穂よ！



▲麻生さんの熱いまなざしの中、緊張気味に振興局の方の手によって、採取されました。

嘉永六年の稲穂、発芽せず！残念



▲シャーレの中で行われた発芽試験

雄勝地域振興局で取り組んでいた嘉永六年の稲穂の発芽試験でしたが、残念ながら発芽しませんでした。雑草の種などとは違って当初から発芽させるのは相当難しいとは聞いておりましたが、本当に残念です。

麻生さんのお宅では、将来科学が進歩して発芽させる技術なり、DNAから復元させるなど出来たらと、これからもこの標本を大切に保存していくそうです。